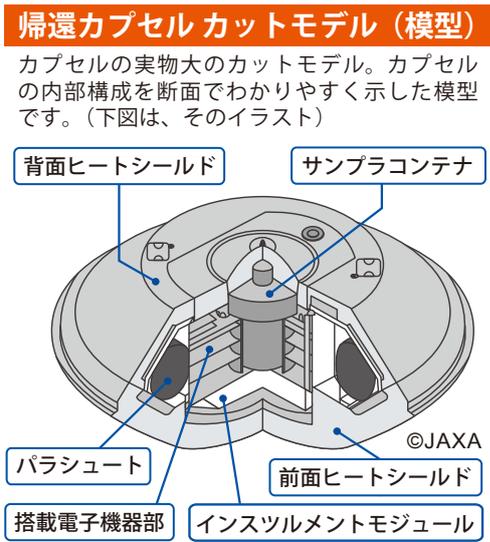
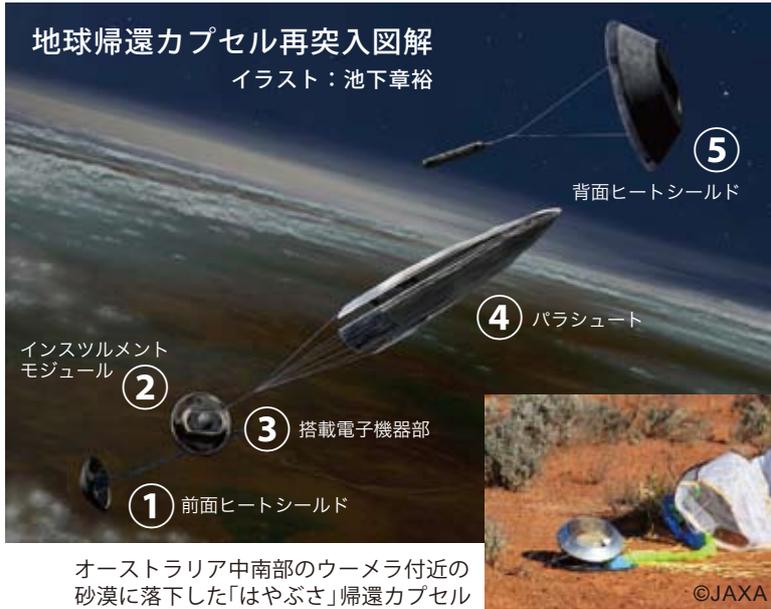


小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展

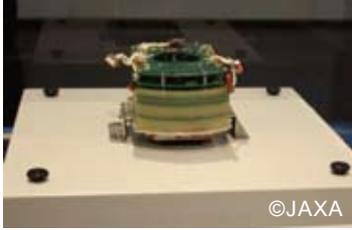
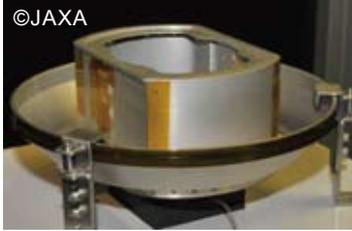
展示品



はやぶさ 1/8 模型
「はやぶさ」の本体は、約 1.0m×1.1m×1.6m、太陽電池パドルを開くと約 5.7m、打ち上げ時の質量は、約 510kg です。



- ### 「はやぶさ」の軌跡
- 2003. 5. 9 内之浦宇宙空間観測所より M-V ロケット 5 号機で打ち上げ
 - 5.27 イオンエンジン点火
 - 2004. 5.19 地球スウィングバイでイトカワに向けて旅立つ
 - 2005. 7.29 小惑星イトカワの撮影に成功
 - 9.12 イトカワに到着 (約 20km 地点)
 - 9.30 ホームポジション (約 7km 地点) に到着
 - 11.12 ミネルバ分離
 - 11.20 1 回目のタッチダウン・ターゲットマーカー放出
 - 11.26 2 回目のタッチダウン
 - 12. 8 燃料漏れで姿勢が安定せず、地球との通信ができなくなる
 - 2006. 1.23 地上との通信が復活
 - 2007. 1.18 試料容器のカプセル収納・蓋閉め運用完了
 - 2 月 イオンエンジンの再点火
 - 4.25 地球帰還に向けた本格巡航運転開始
 - 10.18 第 1 期軌道変換完了・イオンエンジン停止
 - 2008. 5 月 地球から最遠地点を通過
 - 2009. 2. 4 第 2 期軌道変換開始・イオンエンジン再点火
 - 11. 4 イオンエンジンに異常発生
 - 11.19 2 台のイオンエンジンを組み合わせて推進力確保
 - 2010. 3.27 第 2 期軌道変換完了・イオンエンジンの連続運転終了
 - 4 月 再突入に向けた軌道修正開始
 - 6.13 地球帰還
 - 6.14 カプセル回収
 - 7. 5 カプセル内のサンプラコンテナに微粒子を確認
 - 11.16 カプセル内の微粒子がイトカワ由来のものであると判明



香川衛星開発プロジェクト
香川大学工学部の能見研究室を中心として、2005 年 1 月に開始したプロジェクトです。開発された STARS (KUKAI) は、2009 年 1 月に H2A ロケットで打ち上げられ、テザー宇宙ロボットの検証実験に成功しました。現在は、宇宙ゴミ除去の新技术を備えた STARS-II を 2013 年以降の打ち上げを目指して開発中です。

撮影禁止です!

- お願い
- 7 年間の宇宙の旅に耐えた貴重な資料です。保全のため温湿度管理を行っています。
 - 今後も宇宙開発などの分野の貴重な研究対象です。
 - 展示室内では、携帯電話機を含む、写真や動画の一切の撮影はご遠慮ください。
 - 展示室内では、係員の指示に従い、混雑時は立ち止まらずにゆっくりお進みください。
 - 展示ケースの前はロープで仕切られています。ロープの中に入らないでください。
 - 小さなお子様からは、展示室内外ともに、絶対に目を離さないでください。